

島根原子力発電所 2 号炉 審査資料	
資料番号	EP-060 改 51(回 4)
提出年月日	令和 2 年 6 月 16 日

令和 2 年 6 月  
中国電力株式会社

島根原子力発電所 2 号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（重大事故等対処設備：別添資料－2 残留熱代替除去系を用いた代替循環冷却の成立性について）

No.	年月日	コメント内容	回答内容
1	令和2年2月3日	B系のRHRに接続している理由を説明すること。	第296回ヒアリング（R2.2.12） 残留熱代替除去ポンプの有効吸込水頭確保の観点から，残留熱代替除去ポンプ設置場所に近いB－残留熱除去系に接続する設計としていることを記載した。  （EP-060改28「重大事故等対処設備について 別添資料－2 残留熱代替除去系を用いた代替循環冷却の成立性について」別添2-4ページ参照）
2	令和2年2月12日	格納容器フィルタベント系の駆動源として常設代替交流電源を含んでいることを説明すること。	第838回審査会合（R2.2.20） 表1「多様性及び独立性，位置的分散」の格納容器フィルタベント系の駆動源に常設代替交流電源を記載した。  （資料1-3-1「島根原子力発電所 2 号炉 残留熱代替除去系について」5ページ参照）
3	令和2年 6 月 5 日	S/Cの除熱手段について，可搬型も手段があれば説明すること。	可搬型格納容器除熱系は，事故後長期の崩壊熱を循環冷却により除去可能な設備として配備する。可搬ポンプの容量を考慮し，S/P水冷却及びPCVスプレーは行わない設計ではあるが，S/P水温及びPCV温度が低下することを確認している。  （EP-060改39「重大事故等対処設備について 別添資料－2 残留熱代替除去系を用いた代替循環冷却の成立性について」参考4，5ページ参照）